

④ 教科からの効果的な学習の仕方のアドバイス

国語の学習

1. 国語の主体的な学習

- 文章を読みましょう。物語の場面や登場人物の気持ちをイメージしたり、知らなかったことを知ったりして読むことを楽しみましょう。
- 文章を書きましょう。書くことは考えることです。思考力を高めるために自分が考えたことは文章に書き表しましょう。
- 自分の考えや意見を持ち、積極的に話をして伝えましょう。人前で話す経験を積むことで、話す力を身につけましょう。
- 友達や先生の話真剣に聞き理解しましょう。また、自分の考えと比較しながら、聞くようにしましょう。

2. 国語の効果的な授業の受け方

- 学習道具は忘れない。 ○集中する。 ○ノートに自分や友達の考えを記録する。
- 自分の意見を持つ。 ○挙手をして自分の意見を発表する。
- 友達の意見を真剣に聞き、質問する。
- 友達の意見と自分の意見を比較し、自分の考えを深める。
- 授業で学んだことは授業中に身につける。



3. 国語の効果的な家庭学習

- 漢字スキルを使って、新出漢字を練習する。(筆順を正確に)
- 教材文を声に出して読む。
- わからない語句は辞書を使って調べる。
- 国語便覧を活用して、語句や文章を確認する。
- 漢字、文法などは繰り返し復習して、しっかり覚える。
- ノートを見直す。要点をつかみ、疑問点があれば、チェックし翌日先生に質問する。
- ワークの問題を自分の力で確実に解く。わからないところがあれば、翌日先生に質問する。

社会の学習

1. 社会の主体的な学習

社会科の学習は、地図やグラフや写真などの資料(情報・知識)を読み取って、それらをもとに自分の考えや意見をつくり表現していくことが社会科の学習の目標です。これから私たちが直面する課題や社会問題に「よりよく」対応するために、社会的なものの見方や考え方を身につけていきましょう。

2. 社会の効果的な授業の受け方

授業では、資料からたくさんを見つけ、理由を考えよう。

とにかく学習の基本は授業です。集中して取り組み、教科書の地図や写真、表や文書などの資料からたくさん気づくことを見つけよう。いろいろな見方で資料を見ると他の人にはない発見ができます。また、出来事の関係や理由がわかると、社会科が好きになり得意になります。

そのために、友達の意見や先生の説明をしっかり聞いて、人に伝えてみながら自分の考えを広げたり、深めたりしていきましょう。もちろん、人は聞いているだけではすぐ忘れます。

大切なことをしっかりノートに書き写すことも大切です。



3. 社会の効果的な家庭学習

復習が大切 + ニュースから情報を手に入れよう!

授業の内容をその時間だけで全て理解することは難しいことです。教科書を読んだり、ワークの問題を繰り返し解いたりして大切なことをしっかり覚えましょう。

また、社会科の学習は教科書だけではありません。新聞やテレビのニュースでは、教科書の内容が、しかも教科書よりも新しい最新の情報が紹介されています。中学生になったら、新聞を読もう。世の中の動きに関心を持つと社会科の学習がもっと身近に感じ、楽しくなります。

数学の学習

1. 数学の主体的な学習

計算ができるようになったり、グラフや図形がかけるようになったりするだけでは、本来の数学を理解したということにはなりません。次のようなことに、注目して学習を進めていきましょう。

- ① 「この授業で何を考えるのだろう」「何ができるようになるのだろう」と自分で学習内容を探っていきましょう。
- ② 自分が解いた問題を友達にわかりやすく説明することができるか、取り組んでみましょう。
- ③ 他の友達の発表を聞いて、自分の意見と比較したり、考えをつなげたりして、新しい発見をして学習を深めていこう。
- ④ 「身近な生活や社会の中で、数学がどのように役立っているのだろうか」を考え、調べてみましょう。

2. 数学の効果的な授業の受け方

① 授業に集中し、よく考えよう。

その授業で学習する課題を理解しよう。そして、真剣に考え、しっかりと納得することが大切です。丸暗記や答えを写すような学習方法では実力がつきません。

② 自分の考えを表現しよう。

自分の考えを表現しようと思うと、先生や友達の話をしっかり聴くようになります。自分の考えをもっただけでなく実際に書いてみよう。書いてみることで考えが整理され、相手にわかりやすく説明する力も身につきます。

3. 数学の効果的な家庭学習

予習＋復習をしよう。

次の授業でどんなことを学習するのか、予習しておきましょう。より深い学びができます。そして授業で習ったことを復習しましょう。授業ではわかったつもりでいても、自分一人でやっていると出来ないこともあります。わからないときは、教科書やノートを読み直し、解けるようにしておこう。

理科の学習

1. 理科の主体的な学習

理科の学習は「物事を科学的に見たり、考えたり、表現したりする力」をつけるために行います。

観察や実験を通して、その結果と自分の知識とを活用して自分の考えをまとめます。例えば、「○○という結果（データ）から、△△は□□だということがいえる」というように、自分の意見をもつということです。それが科学的に物事を考えるということです。その考え方ができるようになると、身の回りの様々なことに、もっと興味がわき、自分で疑問を解決していこうとする好奇心が生まれてきます。

理科の学習は、ただ単に覚えたり、計算をしたりする教科ではありません。考える力を深め、人生を豊かにするものととらえて、これからの学習を大切にしていきましょう。

2. 理科の効果的な授業の受け方

① 結果を予想して、観察や実験に取り組もう。

その授業で学習する課題を把握しよう。そして、結果を生活経験などをもとに予想して、観察や実験で確かめよう。自分の手で、触れて、感じることも大切です。

② 結果からいえることを自分の言葉で表そう。

観察や実験の結果やこれまでに学習したことをもとに、自分なりに考えて、言葉で説明してみよう。このことで、科学的な思考力や表現力が身に付きます。さらに、身のまわりの現象や物事の中に学習した内容が活かされている例はないか、探してみましょう。



3. 理科の効果的な家庭学習

復習と予習をしよう。

授業の内容をその時間だけで全て理解することは難しいことです。教科書を読んだり、ワークの問題を繰り返し解いたりして大切なことをしっかり復習しましょう。

次の授業でどんなことを学習するのか、予習しておきましょう。予習をしてもよく分からなかったところを、授業で集中して取り組むと理解しやすくなります。

英語の学習

1. 英語の主体的な学習

- 積極的に友だちや先生とコミュニケーションを図りましょう。
- 互いの考えや気持ちを英語で伝え合ひましょう。
- 今までに習った表現、知識をどんどん活用しましょう。

2. 英語の効果的な授業の受け方

- ・間違いを恐れないようにしよう。
- ・大きな声で音読しよう。
- ・自分の思いや考えをもち、他の人に伝えよう。
- ・仲間話を聞き、自分の意見を深めたり、広げたりしよう。
- ・活動に意欲的に取り組もう。



3. 英語の効果的な家庭学習

- ・教科書を音読しよう。
- ・予習をかねて、どんな内容が書かれているか、自分なりの考えをもとう。
- ・復習をかねて、興味のある内容をさらに調べ、深めよう。

音楽の学習

1. 音楽の主体的な学習

授業の中で様々な「音楽」と関わることにより、多様な音楽で心を豊かにしたり、仲間と一つの美しいものを創り上げる喜びを味わったり、自ら美しいものを求めていく力をつけていきましょう。

音楽の授業における主体的な学びとは、美しい声で豊かに音楽を表現するためにはどうしたよいか、それまでの経験から自分で考えたり、友達と話し合いながらより良い表現を探ったしながら、工夫していこうとする取り組みです。また、いろいろな音楽を鑑賞し、その音楽の中にある価値を見つけようとする取り組みです。



2. 音楽の効果的な授業の受け方は

① しっかり声を出して歌おう。

歌唱活動では、声を出さずして美しい声を育てたり新しい曲が歌えるようになったり仲間とハモる楽しさを味わうことなどできません。音が外れているのではないか、うまく声が出ないのではないかと、恐れて消極的になるのではなく、思い切って声を出して歌うことで、自分自身の歌に耳を傾けることができ、仲間と歌うことの楽しさを共有することができます。

② 少人数で歌おう。

大勢の中では歌えるつもりになっていても、自分だけだとできないということが多々あります。2～3人で、あるいは思い切って1人で歌ってみて、自分の力を正しく把握し、さらにレベルアップしてきましょう。

③ 音楽の良さを自分から見つけよう。

その曲の良さを、音楽のどういうところから感じ取ることができるのかを探っていくことで、表現の工夫をしようしたり、新たに会おう様々な音楽を主体的に聴こうとする姿勢が生まれてきます。



3. 音楽の効果的な家庭学習

耳を傾けさせれば、私たちのまわりにはたくさんの音があり、音楽があります。どんな音楽でも良いので、いいな、好きだなと思うものを、何回も聴いてみてください。そして、なぜ自分はこの音楽をいいと思うのかという理由を、1つでも見つけてみてください。また、チャンスがあればお家の方と一緒に演奏会を聴きに行ってください。生（なま）の音楽には、機械を通した音楽とは異なる魅力や感動があります。



美術の学習

1. 美術の主体的な学習

最古の昔から人類は、生きることへの切実な願い、生命力の象徴としてさまざまな表現をしてきました。現代のみなさんも、自分のイメージを大切に、絵を描いたり形を作ったりして、創造の世界に飛び込んでみましょう。そのためには、まず準備（心と道具）が大切です。しっかりとした準備の上に、基本的なことを学びながら、新たに自分らしさを追求していきましょう。

2. 美術の効果的な授業の受け方は

- ①学習のねらいをしっかりと確認しよう。
- ②自分は、どのような美しさ（自分らしさ）を表現したいのか、自分に問いかけることを大切にしよう。
- ③長期に一つの題材に取り組むことが多いので、毎時間自分の目標をもとう。
- ④制作にとりかかる前に、自分の作品をじっくり見よう。
- ⑤アイデアスケッチは何枚も描き、工夫しよう。
- ⑥材料・用具を工夫し、より自分らしく独創的な作品になるよう吟味しよう。
- ⑦友人や先生からアドバイスをもらい、自分の作品に生かしていこう。
- ⑧最後までしっかりと粘り強く制作しよう。



3. 美術の効果的な家庭学習

世の中には、美しいものやおもしろいものがいっぱいあります。それらには、全て美術が関わっています。どのように関わっているか考えてみましょう。

明倫中学校の地域には、福井市美術館（アートラボふくい）があります。素晴らしい施設が近くにあるので積極的に鑑賞しに行きましょう。

保健体育の学習

1. 保健体育の主体的な学習

保健体育の授業は、「体育」と「保健」の2つの分野があります。体育分野では、実技を中心として、各単元を通して体力や技術の向上、そして自らの課題を見つけ出し、仲間との話し合いなどの中で考え、学習を進めましょう。保健では、自らの健康や安全に関する知識を深める学習をしていきます。



2. 保健体育の効果的な授業の受け方

- ①授業の準備、本日の授業に必要な用具をそろえよう。体育の時間は実技の教科書と筆記用具を、保健の時間は教科書とワークと筆記用具を準備しよう。
- ②集合、準備運動などは体育委員を中心として俊敏に整然とおこなうようにしよう。
(けがの防止と活動時間の確保)
- ③全員で大きな声を出し、活気のある授業にしよう。
- ④話し合いは積極的に参加しよう。
- ⑤学習カードへの記入はていねいにおこない、自分の課題を持って工夫して取り組もう。
- ⑥用具の準備、後始末は体育委員を中心に全員で協力して行うようにしよう。



3. 保健体育の効果的な家庭学習は

生涯にわたって「健康」は、とても大切なものになります。まず体育分野で、身体を動かすことやそれぞれの運動の特性や魅力を感じて欲しいと思います。そこでの学びを、みなさんの生活の中で意識し、可能な限りの運動を取り入れ、「生涯にわたって運動に親しむ心」を育てて欲しいと思います。また、同様に自らの健康を適切に管理するということから、保健分野での学びも重要になります。健康的な生活を送るための学びを自らの生活の中に取り入れ、生活習慣の改善や、健康的な生活の促進を図って欲しいと思います。

技術・家庭の学習

1. 技術・家庭の主体的な学習

技術・家庭では、生活と技術の関わりについて正しく理解しながら、毎日の生活に必要な基礎的な知識や技術を身に付け、生活を工夫したり、創造したりする能力を養っていきます。そのためには、いつも自分で「知る・考える・行う」という活動を通して、学習を進めていきましょう。



2. 技術・家庭の効果的な授業の受け方は

- 安全に、効率的に、そして協働しながら学習を進めよう。
 - ・怪我などに注意しながら、集中し協力しながら行いましょう。
- 自分の生活と常に関連づけながら学習を進めよう。
 - ・生活の中で疑問をもち、課題を見つける練習をしましょう。



3. 技術・家庭の効果的な家庭学習は

この教科で学習したことは、理解するだけでなく、実生活で役立てることでさらに生きてきます。現在は、既製品が多い時代ですが、ものがどのように作られているかを知り、実際に作ってみることは、既製品をいかに選ぶか、大切に使うにはどうしたらいいかということを知るために大切なことです。さらに、コンピュータを利用して、情報を正しく活用することも、生活を向上させることにつながります。また、家庭科においては、家族の一員として、家庭での役割をもち、お手伝いとして実践していくことで、学んだことが自分の力となってきます。継続してやっていきましょう。